

科学技術・学術審議会 情報委員会
情報科学技術分野における戦略的重要研究開発領域
に関する検討会（仮称）の設置について（案）

令和 6 年 1 月 25 日
科学技術・学術審議会
情報委員会

【概要】

情報委員会では、科学技術及び学術の振興を図るため、情報科学技術等の推進のために必要な方策等について幅広い観点から調査検討を行っているところ、情報科学技術の急速な技術革新にも適切に対応できるよう、最先端の技術に関する情報収集・検討を行う体制の構築が急務となっている。

上記を踏まえ、進展の著しい情報科学技術に関して適時に情報収集を行い、その動向に応じて戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）に関わる戦略目標や機動的な取組等に資する事項の検討など、情報科学技術等の推進のために必要な方策に関する議論を行う。

【主な審議の論点案】

- （１） 情報科学技術分野において戦略的に重要な研究開発領域の動向について
- （２） 上記動向を踏まえた国が講ずべき取組等について
- （３） その他必要と考えられる事項

【審議の進め方】

- （１） 情報委員会において、本検討会で検討すべき領域等について議論を行う。
- （２） 本検討会において、大学等研究機関や民間企業等から幅広く意見を伺う。
（必要に応じて構成員以外の招聘も認める。）
- （３） 本検討会での審議結果を踏まえ、情報委員会において議論のとりまとめを行う。

【参考】

<デフレ完全脱却のための総合経済対策（令和5年11月2日閣議決定）（一部抜粋）>

- ・今後とも、人口減少が継続し、人手不足、地域社会の維持など、様々な社会課題の深刻化が懸念される中においては、デジタル技術を活用して、官と民、経済社会全体の効率性・生産性を高め、持続可能な経済社会を構築していくことが求められている。
- ・AIは、GX・DXのみならず、様々な領域でイノベーションを起こす可能性を秘めたツールとなる。社会課題解決と経済成長を同時に実現する「新しい資本主義」の確立に向け、GX・DX分野の国内投資を拡大するとともに、GX・DXを含むあらゆる分野での社会変革を推進するため、我が国のAI開発力の強化やAIに係るルール整備に取り組む。

<新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2023 改訂版（令和5年6月16日閣議決定）（一部抜粋）>

- ・AIに関する多くの課題に対応するため、有識者によるAI戦略会議、関係省庁によるAI戦略チームを軸に、各省庁が協力しながら政策を立案・推進していく。また、社会情勢や技術が急激に変化していく中で、新たな論点や想定外の事態に関する情報を、各種の研究サークルや国際的なフォーラム等から継続的に収集する。
- ・科学技術・イノベーションには、感染症・地球温暖化・少子高齢化等、世界が直面する様々な社会的課題を解決する力がある。官民が連携して科学技術投資の抜本拡充を図り、科学技術立国を再興する。

<AIに関する暫定的な論点整理（令和5年5月26日AI戦略会議）（一部抜粋）>

- ・AIは、安全保障、災害対策、温暖化対策等の地球規模の課題においても重要なツールであり、我が国は有志国とともに技術革新に取り組む必要がある。
- ・緊急性・重要性の高い課題に対しては、迅速に対応しつつ、予想外の事態も想定した柔軟な対応をとるべきである。また、中長期的な課題に対しては、技術・社会の変化を機敏に捉えた対応が求められる。
- ・AIは技術革新のスピードが速く予見能性の低さを有するがゆえに、AIの開発にタイムリーに関与しないことは、最先端の技術情報にアクセスする機会を失うこととなり、それ自体がより大きなリスクを生む。